

石井常雄氏が逝去されました



茂原市名誉市民・石井常雄氏（91歳）が、
4月27日午前3時7分、逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

茂原市の発展に尽力

故石井常雄氏は、昭和63年5月に茂原市長に就任され、平成20年5月までの間、5期20年の長きにわたり市政の発展、住民福祉の向上に貢献されました。

この間、平成3年に「茂原市保健センター」、平成6年に「美術館・郷土資料館」を建設、平成8年には庁舎の老朽化・狭隘に伴い新庁舎を建設しました。



▲平成8年に建設された市役所新庁舎

平成14年には市政施行50周年を記念してオーストラリアのソルズベリー市と姉妹都市提携を結びました。

また、平成元年から平成20年5月まで「東金・茂原・木更津間首都圏中央連絡自動車道建設促進協議会長」に就任、圏央道の早期実現を目指し奔走し、千葉県および茂原市のみならず沿線市町村の発展に大きく貢献されました。

このような功績により、平成21年2月に「茂原市名誉市民」の称号が送られました。



▲平成21年に茂原市名誉市民となりました



▲平成14年に行われたソルズベリー市との姉妹都市提携調印式